



公明党
市川 陽子
議員

教育施策の構築について

問 本年3月17日に、成東東中学校の体育館で、市長との意見交流会が開催されたが、市長及び教育長の率直な感想はどうか。

答 市長 子どもとの意見交換会が、開かれたこと自体に大変意義があると思います。

答 教育長 生徒たちの感想には、市のことを考えたい、地域づくりに貢献したいなど、開催の目的に沿ったものが多く、友達の理解や自己理解にも役立ち、効果的でした。

問 質問の中には、「外灯の設置や空き家の利活用はどうか、東日本大震災での爪跡等の改善・改修はどうか」など貴重な提案があったが、

答 教育部長 主に分割集金で行っており、集金の回数が多いと紛失等の事故のリスクも大きくなるため、年間一括集金とした学校もあります。

市の対応はどうか。

答 市長 真摯な態度で、政策の中に取り入れることができるものは、考えていきます。

問 今後の意見交流会はどうか。

答 教育長 市内小中学校に、開催成果をお知らせし、色々な学校で実施を進めたいと思います。

問 各学校の教材及び副教材の集金方法に、毎年、違いがあるのはなぜか。

答 教育部長 主に分割集金で行っており、集金の回数が多いと紛失等の事故のリスクも大きくなるため、年間一括集金とした学校もあります。

問 文部科学省の通知に、「補助教材の使用は、校長の責任のもと、教育的見地から見て、有益・適切な補助教材を有効に活用することが重要である。また、補助教材の内容及び取り扱いに関する留意事項には、補助教材の購入に関して保護者等に経済的負担が生じる場合は、その負担が過重なも

のとならないように留意する」とあるが、分割または学期別の集金としてはどうか。

答 教育長 保護者の方々の経済状況が様々であり、年間一括集金をしている学校にも、学期ごとや月ごとの分割集金が選択できるように、今後指導します。

子育て支援施策について

問 子育て世代包括支援センター事業の相談窓口の職員の体制と事業内容はどうか。

答 保健福祉部長 専任の保健師1名と、兼任の保健師、看護師を配置し、職員が母子保健コー

ディネーターとなって、主に妊娠前から子育て期までの相談に応じ、支援を行います。現在、成東保健福祉センターの3階の部屋を整備し、開設は7月を予定しています。愛称は幸せを意味する「はぴねす」です。妊婦の方や就学前のお子さんを持つ転入者の方全員に、子育てケアプランを作成し、子育て支援を強化するものです。対象者は、年間300人を見込んでいます。



「はぴねす」シンボルマーク

問 産後ケアの推進体制の現状と今後の取り組みはどうか。

答 保健福祉部長 保健師や助産師による産婦の家庭訪問を実施しています。今後、産後の母子の心身のケアや育児のサポート等を行うデイサービスとシヨートステイを実施するため、さんむ医療センターと連携し、協議を進めているところですが、

問 産後鬱は、産後の母性の回復や授乳の状況、精神状態を把握し、適切な対応が重要とあるが対策はどうか。

答 保健福祉部長 家庭訪問時に助産師や保健師が産後鬱病チェックリストを用いて、随時、看護サマリーという情報提供書にて、医療機関と情報共有を行っています。

問 新生児の早期発見に1人も漏れないよう周知の強化と、はぴねすへ安心して気軽に來て頂ける相談窓口を望むがどうか。

答 市長 子育て環境の整備に努め、出生率が上がることに思いを込め、頑張ります。

問 早期発見に格差が生じてくと思うが、聴覚検査の実施状況の把握はどうか。

答 保健福祉部長 検査状況は出生届時に母子健康手帳で確認するとともに、新生児訪問や乳児健診時の問診票等で再度確認します。



子育て世代包括支援センター「はぴねす」